



安芸高田市
有限会社援農甲立ファーム
専務 光永 浩章さん（40歳）

特約で手厚い補償に満足感

ハウスでは野菜の栽培のほか、水稻の育苗など、季節に応じて用途を変えています。園芸施設共済には会社を設立した2002年に加入し、被害があったときにすぐ対応してもらえるので助かっています。

この地域は雪が多いので、大雪の予報が出たときは、ハウスがつぶれないよう早めに雪下ろしをするようにしています。

それでも、22年12月の大雪ではハウス3棟が被害に遭い、2棟が全壊し、もう1棟も半分以上が押しつぶされました。復旧費用と撤去費用の特約を付けていたので、補償が手厚く、ハウスの建て替えなど、早期再建の後押しになりました。

野菜作物に特化した補償として、20年からは収入保険にも加入しています。昨今はどのような災害が起こるか本当にわからないので、長く続けていくためにも、支えになるものは必要だと思います。

▷ハウス41棟（コマツナ、アスパラガスなど1.2畝）、水稻30.8畝